

〈解答〉

- ① 1 (1) 過密 (地域)
 (2) ウ→ア→イ (完答)
 2 (1) 記号：D 県名：島根 (県) (両解)
 (2) エ
 (3) ウ
 (4) ①：涼しい ②：少ない (両解)

配点 ① 2(2)(3)各1点, 他は各2点 10点満点

〈解説〉

- ① 1(1) 過密とは、人口や産業などが都市など一部地域に過度に集中した状態で、住宅難、ごみ処理問題のほか、公共施設の不足、大気汚染・騒音などの公害による生活環境の悪化などが問題となっている。過疎とは、農山村などで人口が減少し、社会生活を維持することが難しくなった状態である。
- (2) 日本の年齢別人口構成を示す人口ピラミッドは、年齢の低い子どもほど割合が高い「富士山型」から、子どもの割合と高齢者の割合の差が「富士山型」よりも小さい「つりがね型」、子どもの割合が低くなり、高齢者の割合が高い「つぼ型」へと変わっている。
- 2(1) 日本の標準時子午線は、東経135度で兵庫県明石市を通る。Aの千葉県、Bの長野県、Cの滋賀県は兵庫県より東側に位置する。Dは島根県で県庁所在地は松江市で、兵庫県より西側に位置している。
- (2) ア福島県ではなく、茨城県である。イ岐阜県は近畿地方ではなく、中部地方である。ウ中部地方ではなく、近畿地方である。
- (3) Aの千葉県は東京都に隣接するため、人口が多く、通勤・通学で移動する人が多いため、昼夜間人口比率が少ないウとなる。アはBの長野県、イはDの島根県、エはCの滋賀県である。
- (4) 長野県の八ヶ岳山ろくなどの高原地帯では、夏でも冷涼な気候を生かし、レタスやキャベツなどの高原野菜を、他の地域と時期をずらして出荷する抑制栽培がさかんである。